

表1.1. 女子院生の追跡調査の例

東大理学部化学科修士課程

修了年次	修了者数		東大教員		その他国立大教員	
	男	女	男	女	男	女
1955	19	1	教授 2		教授 4 助教授 1	
1956	12	3	助教授 2	講師 1 助手 1	教授 1	助教授 1
1957	17	3	助手 1*		教授 2 助教授 1	
1958	16	2	助教授 2			
1959	15	3	助教授 6		教授 1 助教授 1	
1960	12	0	助教授 5			
1961	15	1	助教授 1 講師 1 助手 1		教授 1 助教授 5	
1962	10	1			助教授 1	
1963	13	2	助手 3		助教授 2 助手 1	助教授 1
1964	16	3	助教授 2 講師 1 助手 2		助教授 2	
1965	20	7	講師 1 助手 3	助手 1	助教授 1 講師 1 助手 2	
1966	27	6	助手 8	助手 1		
合計	224	32	41	4	27	2

篠塚則子氏調査

東大に就職した者のうち、男子では1960年度修了者までほぼ全員が教授、助教授になっている（表の米は地震研で紛争のための特異例）が、婦人は最高が講師である。国立大学全体をみると、男子では11名が教授になっているのに対し、婦人の教授はまだ出ていない。